



世界に希望を生み出そう
RI 会長 コートン R. マッキナリー

Weekly Report

クラブ会長テーマ

三年半を取り戻す！

第 2558 回例会報告

日 時：令和 5 年 8 月 30 日（水）

会 場：例会場

司 会：S A A

北島正典委員長

開会点鐘

本間副会長

ロータリーソング：我等の生業

お客様の紹介

本間副会長

会長報告

本間副会長

本日はありません

幹事報告

北島清高幹事

●第一回地区大会実行委員会

9 月 5 日火曜日 18 時 30 分オンライン

出席：本間実行委員

●地区公共イメージセミナー

9 月 12 日火曜日 15 時オンライン

出席：千葉広報 IT 委員長

●多摩中グループ IM 実行委員会

9 月 19 日（火）18 時 30 分

フォレストイン昭和館

出席：本多委員

委員長報告

●小澤谷守国際奉仕委員長

きょうは皆様にお願ひがあります。同じ 2750 地区のグアムで甚大な台風被害がありました。同じ地区同志ですし、地区から義援金の願ひが来ております。皆様方に義援金の箱を回しますのてよ

ろしく願ひいたします。

500 円からで協力よろしく願ひいたします。

（募金額：24,500 円でした）

クラブフォーラム

本間副会長

先々週小澤崇文会長よりクラブフォーラムの議題を、各委員長の発表も終わりましたことから、委員会個別で炉辺を開いてほしいとのことでした。本日会長不在のため、本日の炉辺は後日に延期とさせていただきます。

ニコニコ BOX

杉田親睦活動委員

●本間副会長 本日、会長不在のため点鐘させていただきます。

●北島正典幹事 コロナが流行っております。皆様気を付けましょう!!

*ニコニコ BOX 合計 7,000 円 累計 326,000 円

出席報告

山崎出席奨励委員

8 月 30 日 在籍 39 名中 出席 28 名

28 日前の出席率

7/19=97.4% ・ 7/26=94.5% ・ 8/2=94.5%

閉会点鐘

本間副会長



昭和記念公園 HP より



RI 第 2750 地区 多摩中グループ
東京国立ロータリークラブ

会長：小澤崇文 幹事：北島清高

例会日：毎週水曜日

例会場：東京都国立市谷保 5209 谷保天満宮社務所 2 階

事務所：東京都国立市谷保 5234-1 電話 042-575-04770 FAX042-572-8666

E-mail : kunitachi-rc@sage.ocn.ne.jp WEB http://kunitachi-rc.com/

会報委員：山岡眞茂・川向輝樹・本多鋼治・中村 明



1. 「再会 in 関東」開催 過去最多の1,000人超え

第3回米山学友による世界大会「再会 in 関東」（主催：関東10地区米山学友会）が8月5日、つくば市国際会議場で開催されました。また、前日には前夜祭、6日にはつくば市内で文化体験バスツアーが行われました。今回つくば市が開催地となった背景に、世界最大級のサイエンスシティが、勉学を目的に来日した経験を持つ米山学友が集うのに相応しい都市であるだけでなく、東日本大震災の被災地でもある地で大きな集いを開催することで、地域貢献・活性化に繋がりたい、という実行委員会の思いがあります。その思いの通り、世界38カ国の米山学友と現役奨学生638人、ロータリアン447人、その他家族などを含め、登録者数は総勢1,209人となり、広い会場は超満員となりました。



世界各国から集結した米山学友たち

同日午前中には、各学友会の活性化を目指したポスター、キャリアデザイン支援を目的とするビジネスポスターが会場内の壁面いっぱいに飾られ、当会役職理事や主催の関東10地区ガバナーの審査により、優秀作品に選ばれた作品には、式典内で目録が贈られました。また、「米山フェスティバル」と題し、各国のお菓子を持ち寄り、交流の時間が設けられました。

14時半から本大会式典が開始。オープニングセレモニーでは、第2回世界大会「絆 in モンゴル」実行委員長のジャンチブ・ガルバドラツハさん（1998-99／山形北RC）から、「再会 in 関東」実行委員長の朴貞子さん（2006-08／岸和田RC）へ米山世界大会シンボルの引き渡しが行われました。当会の若林紀男理事長、韓国学友会の全炳台会長（1980-83・91／仙台



朴実行委員長（左）へ引き継がれた大会のシンボル

北RC）、つくば市市長の五十嵐立青氏から、祝辞が述べられました。

今大会の開催に向けて、主催の関東10地区学友会ではチャリティー奉仕リレーとして募金活動を行い、集まった寄付金407,381円は、子供の貧困問題に取り組むNPO法人 Learning for All の山村卓矢氏へ手渡しされました。

「米山学友の在り方と世界大会の開催意義」をテーマに行われたパネルディスカッションでは、ファシリテーターの第2750地区宮崎陽市郎ガバナーと米山学友5人が登壇し、奨学生時代の思い出や、当事業への思いが語られました。その後、今年7月から活動を開始した第5代よねやま親善大使3人による自己紹介、米山梅吉記念館についての紹介を挟み、百人合唱祭ではテーマソングである「米山の絆」の大合唱が行われ、会場は熱気に包まれました。



ステージで「米山の絆」を合唱

会場を移して迎えた第二部の懇親会では、ベトナムやミャンマー、国内学友による民族舞踊、ダンスパフォーマンス、演奏や合唱が次々に披露され、笑顔で溢れた会場は、大盛り上がりそのまま閉幕となりました。

次回の第4回となる世界大会の開催地は台湾に決定。2026年6月に開催予定です。